



## 平成27年10月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成27年9月10日

上場会社名 アヲハタ株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 2830 URL <http://www.aohata.co.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 野澤 栄一  
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役経営本部長 (氏名) 矢萩 直秀 TEL 0846-26-0111  
 四半期報告書提出予定日 平成27年9月11日 配当支払開始予定日 ー  
 四半期決算補足説明資料作成の有無： 無  
 四半期決算説明会開催の有無： 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成27年10月期第3四半期の連結業績（平成26年11月1日～平成27年7月31日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年10月期第3四半期	18,052	22.2	581	266.7	596	255.7	589	505.3
26年10月期第3四半期	14,777	3.7	158	△71.7	167	△70.6	97	△73.2

(注) 包括利益 27年10月期第3四半期 471百万円 (305.3%) 26年10月期第3四半期 116百万円 (△74.5%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年10月期第3四半期	74.13	—
26年10月期第3四半期	14.13	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
27年10月期第3四半期	16,630	10,459	62.5
26年10月期	14,761	9,830	65.8

(参考) 自己資本 27年10月期第3四半期 10,385百万円 26年10月期 9,710百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年10月期	—	7.50	—	7.50	15.00
27年10月期	—	7.50	—	—	—
27年10月期(予想)	—	—	—	7.50	15.00

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

### 3. 平成27年10月期の連結業績予想（平成26年11月1日～平成27年10月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	23,680	21.0	470	196.3	500	159.8	510	644.5	63.90

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無  
新規 ー社 （社名）ー、除外 ー社 （社名）ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、[添付資料] 3 ページ「2. サマリー情報（注記事項）に関する事項（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	27年10月期 3 Q	8,092,000株	26年10月期	6,900,000株
② 期末自己株式数	27年10月期 3 Q	13,228株	26年10月期	13,136株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	27年10月期 3 Q	7,947,837株	26年10月期 3 Q	6,886,940株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等はさまざまな要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、[添付資料] 2 ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	2
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項 .....	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	3
3. 四半期連結財務諸表 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における国内経済は、政府や日銀による経済政策や金融緩和政策による下支え効果もあり、輸出関連企業を中心に収益や雇用情勢に改善が見られるなど、緩やかな景気回復傾向が見られましたが、依然として海外経済の下振れリスクなどによる不透明な状況が続きました。食品業界におきましては、輸入原材料価格の高騰により収益が圧迫され、一部では価格改定の動きも見られましたが、生活必需品に対する根強い節約志向もあって、厳しい経営環境が継続しております。

このような状況のもと、当社グループは中期経営計画の最終年度の方針として昨年に引き続き「1. 人材育成」「2. 国内事業の持続的成長」「3. 海外事業の着実な展開」「4. 品質視点経営」をテーマに掲げ、「お客様の求める価値の実現」に向けて取り組んでまいりました。

売上につきましては、ジャム類では新しい営業体制のもと、特約店等へ直接販売することで売価が変更になったことにより大きく増加となりました。また、砂糖を使わず果実と果汁で作った「アヲハタ・まるごと果実」シリーズが引き続きご好評をいただき伸長しました。

調理食品類では、料理用ソースおよびスープ類が伸長し、介護食「キューピー・やさしい献立」シリーズも伸長しましたが、パスタソース類が伸び悩み全体では微増となりました。

産業用加工品類は、果実加工品およびフルーツ・プレパレーションは伸長しましたが、フルーツ原料販売が減少し、全体では減少となりました。

その他のカテゴリーでは、新規事業である「カット野菜」が寄与しましたが、菓子・デザート類が減少したため、全体では微増となりました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は180億52百万円（前年同期比22.2%増）となりました。

利益につきましては、営業利益は5億81百万円（前年同期比266.7%増）、経常利益は5億96百万円（前年同期比255.7%増）、四半期純利益は5億89百万円（前年同期比505.3%増）となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ18億69百万円増加し166億30百万円となりました。資産の増加の主な要因は、受取手形及び売掛金の増加9億64百万円、商品及び製品の増加5億22百万円などです。

負債合計は、前連結会計年度末に比べ12億40百万円増加し61億71百万円となりました。負債の増加の主な要因は、短期借入金の増加5億28百万円、支払手形及び買掛金の増加4億39百万円などです。

また、純資産合計は、前連結会計年度末に比べ6億29百万円増加し104億59百万円となりました。純資産の増加の主な要因は、利益剰余金の増加4億32百万円などです。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の業績予想につきましては、当第4四半期に産業用加工品類において利益体質強化に向けた商品の峻別を進める予定であり、当第3四半期連結累計期間の実績に対して利益が減少する見込みのため、平成27年6月1日に公表した業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計方針の変更

（退職給付に関する会計基準等の適用）

「退職給付に関する会計基準」（企業会計基準第26号 平成24年5月17日。以下「退職給付会計基準」という。）および「退職給付に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第25号 平成27年3月26日。以下「退職給付適用指針」という。）を、退職給付会計基準第35項本文および退職給付適用指針第67項本文に掲げられた定めについて第1四半期連結会計期間より適用し、退職給付債務および勤務費用の計算方法を見直し、退職給付見込額の期間帰属方法を期間定額基準から給付算定式基準へ変更、割引率の決定方法を従業員の平均残存勤務期間に近似した年数を基礎に決定する方法から、退職給付の支払見込期間および支払見込期間ごとの金額を反映した単一の加重平均割引率を使用する方法へ変更いたしました。

退職給付会計基準等の適用については、退職給付会計基準第37項に定める経過的な取扱いに従って、第1四半期連結会計期間の期首において、退職給付債務および勤務費用の計算方法の変更に伴う影響額を利益剰余金に加減しております。

この結果、第1四半期連結会計期間の期首の退職給付に係る負債が66,425千円増加し、利益剰余金が44,490千円減少しております。また、当第3四半期連結累計期間の営業利益、経常利益および税金等調整前四半期純利益はそれぞれ4,312千円増加しております。

## 3. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年10月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成27年7月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	205,953	385,358
受取手形及び売掛金	3,566,108	4,530,818
商品及び製品	1,432,426	1,954,912
仕掛品	51,610	30,061
原材料及び貯蔵品	2,993,457	2,978,930
その他	416,964	498,216
貸倒引当金	△18,689	△22,951
流動資産合計	8,647,832	10,355,347
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,590,613	1,779,827
機械装置及び運搬具(純額)	1,532,367	1,726,281
土地	1,311,042	1,321,042
その他(純額)	322,825	183,646
有形固定資産合計	4,756,848	5,010,798
無形固定資産	72,184	138,632
投資その他の資産		
投資有価証券	822,827	599,812
その他	464,529	529,167
貸倒引当金	△3,200	△3,200
投資その他の資産合計	1,284,156	1,125,780
固定資産合計	6,113,189	6,275,211
資産合計	14,761,021	16,630,559
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,169,645	2,609,329
短期借入金	1,321,168	1,850,000
未払法人税等	40,634	214,318
売上割戻引当金	—	7,920
賞与引当金	243,262	191,907
役員賞与引当金	840	11,181
その他	543,649	693,507
流動負債合計	4,319,200	5,578,163
固定負債		
退職給付に係る負債	498,323	510,632
資産除去債務	58,608	58,793
その他	54,625	23,551
固定負債合計	611,557	592,977
負債合計	4,930,757	6,171,140

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成26年10月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成27年7月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	644,400	644,400
資本剰余金	714,594	1,029,046
利益剰余金	8,176,476	8,608,923
自己株式	△13,867	△14,051
株主資本合計	9,521,604	10,268,318
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	176,176	68,865
繰延ヘッジ損益	10,648	3,664
為替換算調整勘定	58,235	92,187
退職給付に係る調整累計額	△55,834	△47,151
その他の包括利益累計額合計	189,225	117,565
少数株主持分	119,434	73,533
純資産合計	9,830,263	10,459,418
負債純資産合計	14,761,021	16,630,559

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成25年11月1日 至平成26年7月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成26年11月1日 至平成27年7月31日)
売上高	14,777,309	18,052,662
売上原価	13,030,397	13,672,801
売上総利益	1,746,911	4,379,861
販売費及び一般管理費	1,588,194	3,797,892
営業利益	158,716	581,968
営業外収益		
受取利息	1,265	4,499
受取配当金	3,960	4,285
受取賃貸料	12,200	12,063
受取補償金	5,624	3,414
為替差益	626	992
その他	3,846	4,016
営業外収益合計	27,524	29,272
営業外費用		
支払利息	5,410	6,621
賃貸費用	6,058	6,149
固定資産除却損	6,935	1,538
その他	15	41
営業外費用合計	18,420	14,351
経常利益	167,821	596,890
特別利益		
投資有価証券売却益	—	269,197
特別利益合計	—	269,197
税金等調整前四半期純利益	167,821	866,087
法人税、住民税及び事業税	47,056	280,125
法人税等調整額	35,763	43,793
法人税等合計	82,819	323,919
少数株主損益調整前四半期純利益	85,002	542,167
少数株主損失(△)	△12,334	△47,011
四半期純利益	97,336	589,179

(四半期連結包括利益計算書)  
(第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成25年11月1日 至平成26年7月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成26年11月1日 至平成27年7月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	85,002	542,167
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	30,380	△107,310
繰延ヘッジ損益	△1,377	△6,323
為替換算調整勘定	2,370	33,952
退職給付に係る調整額	—	9,133
その他の包括利益合計	31,373	△70,548
四半期包括利益	116,375	471,619
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	128,649	517,519
少数株主に係る四半期包括利益	△12,273	△45,900

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、平成26年12月1日を効力発生日としてキューピー株式会社を分割会社とし、当社を承継会社とする吸収分割をおこないました。分割事業の対価として当社の普通新株式1,192,000株を割り当て交付したことにより、第1四半期連結会計期間において資本剰余金が314,451千円増加いたしました。

この結果、当第3四半期連結会計期間末の四半期連結貸借対照表における資本剰余金は1,029,046千円となっております。